

2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月9日

上場会社名 大阪油化工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4124 URL <https://www.osaka-yuka.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 哲平
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務部長 (氏名) 島田 嘉人 (TEL) 072-861-5322
四半期報告書提出予定日 2024年5月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	446	△31.3	△30	—	△29	—	△26	—
2023年9月期第2四半期	649	16.6	93	56.9	89	50.4	58	67.5

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 △26百万円(—%) 2023年9月期第2四半期 58百万円(67.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	△25.16	—
2023年9月期第2四半期	56.98	56.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	1,823	1,689	92.7
2023年9月期	1,890	1,738	92.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 1,689百万円 2023年9月期 1,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,240	0.4	70	△39.3	70	△36.9	50	—	48.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	1,073,500株	2023年9月期	1,073,500株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	29,406株	2023年9月期	38,306株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	1,037,431株	2023年9月期2Q	1,034,855株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年10月1日~2024年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動の正常化による個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかな回復を続けております。しかしながら、国際情勢が一段と不安定化しており、原材料・エネルギーコストの高止まりによる物価高、地政学リスクの拡大等により、先行きは依然として不透明な状況にあります。当社グループを取り巻く事業環境においては、半導体・電子材料関連の市況に一部持ち直しの動きが見られるものの、厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は2023年11月9日に公表しました3か年中期経営計画(2024年9月期~2026年9月期)に基づき、

- ①計画的な設備更新による性能の維持向上
- ②輸出用商材の開発による海外展開の推進
- ③既存技術・ノウハウを活用した新規事業の創出

等の企業活動に取り組み、長期的な企業価値向上に努めております。

受託蒸留事業では、前期に生じた一部の主要顧客との取引の縮小に加え、半導体・電子材料向けの需要は未だ回復の途上であり、本格回復には至っておりません。また、プラント事業では、展示会への出展や広報活動等を通じて、引き続き自社オリジナル装置の販路拡大に努めております。以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、446,125千円(前年同期比31.3%減)となりました。利益面におきましては、全社的なコスト削減に努めたものの、減収による影響をカバーしきれず、営業損失は30,499千円(前第2四半期連結累計期間は営業利益93,156千円)、経常損失は29,745千円(前第2四半期連結累計期間は経常利益89,791千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は26,096千円(前第2四半期連結累計期間は親会社株主に帰属する四半期純利益58,970千円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおりません。

(受託蒸留事業)

受託蒸留事業におきましては、医薬品・石油等に関連する蒸留案件の引き合いは引き続き好調だったものの、前期に生じた一部の主要顧客との取引の縮小及び半導体・電子材料向けの落ち込みが大きく、受託蒸留事業の売上高は412,154千円(前年同期比29.9%減)、セグメント利益は117,298千円(前年同期比50.3%減)となりました。

(プラント事業)

プラント事業におきましては、蒸留装置・ろ過装置に関する安定的な引き合いはあるものの、案件の後ろずれが発生したことにより、プラント事業の売上高は33,970千円(前年同期比44.2%減)、セグメント損失は22,091千円(前第2四半期連結累計期間はセグメント損失8,737千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ67,778千円減少し、1,823,077千円となりました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ51,070千円減少し、1,000,284千円となりました。主な要因は、原材料及び貯蔵品が1,047千円増加した一方、未収還付法人税等が19,564千円、現金及び預金が16,198千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ16,707千円減少し、822,793千円となりました。主な要因は、建物及び構築物（純額）が10,766千円、機械装置及び運搬具（純額）が5,519千円減少したことによるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ18,933千円減少し、133,275千円となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ18,942千円減少し、126,190千円となりました。主な要因は、預り金が1,028千円増加した一方、未払金が11,316千円、買掛金が5,139千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ8千円増加し、7,085千円となりました。主な要因は、資産除去債務が8千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ48,845千円減少し、1,689,801千円となりました。主な要因は、損失の計上及び剰余金の配当等により利益剰余金が62,036千円、自己株式処分の実施により自己株式が13,190千円減少したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、前連結会計年度末に比べ16,198千円減少し、798,005千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は56,383千円（前年同期は118,616千円の収入）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失29,745千円があったものの、減価償却費44,261千円、法人税等の還付額20,054千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、36,439千円（前年同期は71,471千円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出29,569千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、36,142千円（前年同期は85,901千円の支出）となりました。その主な要因は、配当金の支払額36,142千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績予想につきましては、2023年11月9日付「2023年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、半導体・電子材料向けの需要は回復傾向にあるものの、当初想定よりも回復が遅れていることから、今後の受注見通しを精査するとともに、状況の変化により業績予想の修正が必要になった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	814,203	798,005
受取手形、売掛金及び契約資産	86,347	80,022
電子記録債権	9,382	5,635
商品及び製品	24,628	24,067
仕掛品	21,564	18,434
原材料及び貯蔵品	40,676	41,724
前払費用	23,311	22,950
未収還付法人税等	19,564	—
その他	11,675	9,445
流動資産合計	1,051,354	1,000,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	415,897	405,131
機械装置及び運搬具（純額）	152,701	147,182
土地	157,071	157,071
建設仮勘定	23,568	23,345
その他（純額）	43,741	41,873
有形固定資産合計	792,980	774,604
無形固定資産		
ソフトウェア	3,176	3,034
その他	429	429
無形固定資産合計	3,606	3,463
投資その他の資産		
長期前払費用	1,941	388
繰延税金資産	30,338	33,552
その他	10,634	10,784
投資その他の資産合計	42,914	44,725
固定資産合計	839,501	822,793
資産合計	1,890,856	1,823,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,480	7,341
未払費用	35,326	34,445
未払金	41,622	30,306
未払法人税等	2,902	3,862
未払消費税等	13,606	9,858
賞与引当金	25,488	25,552
預り金	13,319	14,347
その他	387	476
流動負債合計	145,132	126,190
固定負債		
資産除去債務	7,076	7,085
固定負債合計	7,076	7,085
負債合計	152,208	133,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	346,497	346,497
資本剰余金	313,039	313,039
利益剰余金	1,135,883	1,073,847
自己株式	△56,773	△43,582
株主資本合計	1,738,647	1,689,801
純資産合計	1,738,647	1,689,801
負債純資産合計	1,890,856	1,823,077

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	649,132	446,125
売上原価	345,636	282,723
売上総利益	303,496	163,401
販売費及び一般管理費	210,339	193,901
営業利益又は営業損失(△)	93,156	△30,499
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	10	5
確定拠出年金返還金	—	333
その他	33	823
営業外収益合計	43	1,162
営業外費用		
支払手数料	235	—
固定資産除却損	3,172	408
その他	0	—
営業外費用合計	3,408	408
経常利益又は経常損失(△)	89,791	△29,745
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	89,791	△29,745
法人税、住民税及び事業税	19,408	431
法人税等調整額	11,411	△4,079
法人税等合計	30,820	△3,648
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,970	△26,096
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	58,970	△26,096

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,970	△26,096
四半期包括利益	58,970	△26,096
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	58,970	△26,096
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	89,791	△29,745
減価償却費	61,403	44,261
のれん償却額	3,866	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,271	10,073
棚卸資産の増減額(△は増加)	34,098	2,643
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,314	△5,139
その他	△21,858	14,810
小計	151,714	36,904
利息及び配当金の受取額	0	0
法人税等の支払額	△33,098	△575
法人税等の還付額	—	20,054
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,616	56,383
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,805	△29,569
有形固定資産の除却による支出	△2,666	△6,270
その他	—	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,471	△36,439
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△59,440	—
配当金の支払額	△26,461	△36,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,901	△36,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△38,757	△16,198
現金及び現金同等物の期首残高	801,362	814,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	762,604	798,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	451,977	—	451,977	—	451,977
研究開発支援	136,274	—	136,274	—	136,274
プラントサービス	—	60,881	60,881	—	60,881
顧客との契約から生じる収益	588,251	60,881	649,132	—	649,132
外部顧客への売上高	588,251	60,881	649,132	—	649,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	56,439	56,439	△56,439	—
計	588,251	117,321	705,572	△56,439	649,132
セグメント利益又は損失(△)	236,173	△8,737	227,436	△134,279	93,156

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△134,279千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△135,697千円、セグメント間取引消去1,417千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	受託蒸留事業	プラント事業	合計		
売上高					
受託加工	302,714	—	302,714	—	302,714
研究開発支援	109,440	—	109,440	—	109,440
プラントサービス	—	33,970	33,970	—	33,970
顧客との契約から生じる収益	412,154	33,970	446,125	—	446,125
外部顧客への売上高	412,154	33,970	446,125	—	446,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37,893	37,893	△37,893	—
計	412,154	71,864	484,019	△37,893	446,125
セグメント利益又は損失(△)	117,298	△22,091	95,206	△125,706	△30,499

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の△125,706千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,129千円、セグメント間取引消去4,422千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。